

## ◎立正安国論

「蒼蠅驥尾に附して万里を渡り碧蘿松頭に懸りて千尋を延ぶ」

(御書 26 ページ)

## ◎勝利の経典『御書』に学ぶ 兄弟抄

現代において、「只法華経の事のみ」という「心の師」を求める生き方を堅実に歩んできた学会員は皆、見事に勝利の実証を示しています。日本中、世界中に庶民の信心の英雄は数多くおられます。その方たちこそ、「広宣流布の宝」です。また、「人類の宝」です。

(中略)

この宝の如き学会員を、日本だけでなく世界中の知性も賞讃する時代に入りました。

(『勝利の経典「御書」に学ぶ 2』112 ページ)

## ◎兄弟抄

「未来までの・ものがたりなに事か・これにすぎ候べき」

(御書 1086 ページ)

## ◎世界広布新時代第3回本部幹部会(2014年1月11日)でのメッセージ

末法万年尽未来際への大遠征を思えば、いまだ、世界広宣流布の草創期といっても、決して過言ではありません。今、一人の友に、随力弘通で妙法を語り切る勇気が、未来に無量無辺の地涌の眷属を創り広げる。今、言いしれぬ災難にも負けずに、信心を貫き通す不屈の忍耐が、未来の社会の活路を赫々と照らし出す。今、多彩にして多様な友と、励まし合って進む異体同心の団結が、未来の人間共和の都を建設する。

(聖教新聞 2014年1月12日付)